

## 第 19 回防災文化講演会・気仙沼市自主防災組織連絡協議会防災研修会で講演しました (2017/8/9)

テーマ：自主防災組織、地域防災、多世代参加  
場所：気仙沼市役所ワン・テン庁舎

8月9日(水)、気仙沼市役所において気仙沼市自主防災組織連絡協議会「防災研修会」が行われました(主催：気仙沼市自主防災組織連絡協議会・気仙沼市)。この研修会に東北大学災害科学国際研究所も共催し、第19回防災文化講演会として共同開催しました。本年の防災研修会には気仙沼市内の自治会・自主防災組織や社会福祉協議会、学校関係者など62名の参加があり、「幅広い世代が参加できる防災の取り組み」と題して、自主防災活動や地域防災活動に子ども・若者から高齢者まで、幅広い世代が参加できる取り組みや、地域で防災に関する行事を楽しく企画する方法などをテーマに安倍祥助手(寄附研究部門)が講師を務めました。

自主防災組織や地域コミュニティによる防災活動や防災訓練では、取り組みが繰り返される中で参加率の低下や、参加層の固定化が課題になることがあります。これまでとひと味ちがう活動を企画し、幅広い参加が期待される例として、防災キャンプや防災運動会などの行事のアイデアや企画方法を解説しました。また、子どもから大人まで取り組みやすく、災害時に直面する状況を学んだり、議論することで行動について理解を深める防災ゲームや、災害に関する読み物の活用例なども紹介しました。

その他に、社会で活躍する働き盛り世代の能力や得意分野を、地域防災活動や、災害時の情報収集に活かす方法の提案や事例紹介、防災に限らず地域コミュニティの関係性を深める方法として地域行事や地域の協働作業を重視することや、高齢化・人口減少にコミュニティが対応するためにも近隣地域と連携したコミュニティづくりや、地域と関わりのある多様な主体との関係・つながりの強化が、幅広い世代の参加・協力と、地域コミュニティの継続に必要なことなどをお伝えしました。

今後の防災文化講演会は、9月16日および11月18日(いずれも土曜日)に気仙沼市内での開催を予定しております。



防災文化講演会・防災研修会の様子

文責：安倍 祥(寄附研究部門)

写真：災害科学国際研究所気仙沼サテライト